

チーム やまさき

2023. 3. 12
藤沢市藤沢630-1
発行責任者: 木村栄子
TEL 090-6298-8269



福島党首

朝倉優子さん

3
・
1
2
口街頭宣伝開催！
藤沢駅北

まちでみたこと、仕事で経験したことが政治につながる

—当事者が声をあげなければ変わらない— by やまさき

チームやまさきは、3月12日、福島社民党党首の県内遊説に合わせ、藤沢駅北ロデッキで大勢の支援者の皆様の応援を得て開催いたしました。

集会は、飯島さんの司会で始まり、はじめに、社民党の古橋藤沢総支部代表が山崎さん擁立の経緯を紹介をし、続いて山崎市議会議員候補から「学術会議任命拒否問題に組んだことや「若者サポートステーション」で活動していた経験から若者が生活に苦しんでいる現実を観たことなどから現場から声を上げていきたいと思い、市議選に臨むことを決意した」とあいさつしました。

集会には、多くの皆様が応援に駆けつけていただきましたが、町内の友人で画家の友澤蘭香さんは、宮沢賢治の「雨ニモマケズ 風ニモマケズ…… 慾ハナク決シテ瞋ラズ イツモシヅカニワラッテキル…」という詩を引用し、山崎さんの人柄をお話ししていただきました。



We Shall Overcomeを歌う古橋さん



友澤蘭香さん(画家)

また、大久保さんは、神奈川県職員時代の同僚だった山崎さんがメンタルヘルスケアの問題解決に取り組んだエピソードを紹介し、藤沢市政に於ける課題についても、才能を発揮することができる「肝っ玉かあさん」であるとエールを送りました。



大久保 いちよう会代表

福島党首あいさつ（要旨）

山崎さんは、自然体で、普段の生活からの発想を持ち、みんなの意見を聴き、面倒くさがらずにやる人、女性委員長として組合活動をしてきた経験は、地方発の民主主義の体現を期待でき、人を引き付ける魅力がある。

自治体は、法を施行する場所であり、自治体によってその運用は異なるが、自治体ができることは多い。藤沢でも、貧困や子育て対策、給食の無償化、給付型奨学金制度の拡充など、ぜひ取り組んでほしい。

今、日本は軍拡などを行っている場合ではない。原発の新增設も同じ。公共サービスも民営化ではなく、コモンとして活かすことが重要。政治を変えましょう。政治は希望です。是非、みんなの力で山崎さんを議会に送りましょう。